

地域ケア推進会議 報告書

【医療・介護連携に関する場合のみ】

提出日	2023年1月24日
作成 高齢者支援センター	忠生第2
作成者	中山 雄二

1.開催日時	2023年1月12日	(木)	18:00	～	19:00
2.会場	オンライン開催				
3.主催センター	忠生1	・	忠生2	・	
4.参加人数	18人				
5.参加者内訳	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者支援センター 6人		<input checked="" type="checkbox"/> 医療と介護の連携支援センター 1人		
	<input checked="" type="checkbox"/> 医療関係者 2人 (うち、医師 2人)		<input checked="" type="checkbox"/> 介護事業者 6人		
	<input type="checkbox"/> 民生委員 人	<input type="checkbox"/> 老人会 人	<input type="checkbox"/> 住民 人		
	<input type="checkbox"/> 町内会自治会 人	<input type="checkbox"/> 警察 人	<input type="checkbox"/> 行政		
	<input checked="" type="checkbox"/> その他 (障がい事業所、障がい者支援セン ²) 人				
6.開催テーマ	支え合いの町忠生「災害と感染症の中での私たちの暮らし」				
7.地域課題	<p>(1)課題設定の背景</p> <p>2年前に開催予定であったが、感染症拡大にともない話し合いができなかった。この2年間において医療・福祉関係者がどのような取り組みをしてきたかの情報共有から課題の抽出をおこなう。</p> <p>(2)検討した地域課題</p> <p>再度の流行が到来した時に行動制限等、また元に戻すのではない対策を検討する必要がある。これまで各医療・福祉機関が行ってきた感染対策について、医療的な根拠に基づいた整理を行う必要がある。</p>				
8.会議の内容	<p>①前回からの振り返り(各機関より)</p> <p>【障がい者施設機関より報告】 前回参加できなかった機関より感染症対策についての報告。施設内での爆発的な感染拡大や障がいのある方のマスク着用の困難さ、抗原検査が自分ではできず職員の直接的な支援が必要等があり、対応が追いつかない状況。施設だけではなく、障がいを持つ子供と高齢の親世帯については、家庭内感染しているケースも多く見られている。</p> <p>【高齢者グループホームより】 「ゼロコロナ」を目指してはいるが外部からの来客は通常通りに戻っている。</p> <p>②当日までの動き、準備について確認</p> <p>【会議の進め方について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策において各機関(医療・高齢・障がい・地域)でどのような取り組みをしてきたのかオンラインを通して発表 ・各発表後に西村医師より講評 ・講評後に数グループに分かれてグループワークをおこなう ・各グループから話し合いの発表 ・西村医師より総評 <p>【当日までの準備】 チラシ作成、申し込み方法(Google)を活用【次回会議】2/16(木)オンラインにて</p>				
9.課題に対する対応策・今後の地域での展開	<p>前回参加できなかった障がい施設から感染症対策の報告が挙がり、すべての各機関からの感染対策についての報告が出そろい、高齢や障がい等分野によって、対策の難しさ等に差異があることを共通認識できた上でコロナに対する感じ方も様々であるが、各機関の専門職及び住民がウイズコロナの観点で行動することができるよう、医療職からのアドバイスを受け効果的な感染対策をまとめていく必要がある。また災害が発生し非日常的な状態になった場合も想定し、最終的なまとめを行っていく。</p>				
10.その他					

医療と介護の連携支援センター 確認日	1月 31日
--------------------	--------